常磐毎日新聞

日刊

夕刊　五月十九日

定價　一部金六錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京　四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は南の風曇後雨
明日は北西の風曇後晴

# 平―東京 平―仙臺 電話線を增設

## 呼び出し時間短縮

## 七萬圓の工費で着工

### ▽……これも市制實施の恩惠

市制實施と共に平――東京間、平――仙臺間の市外電話の呼び出し時間が斷然短縮されます――仙臺遞信局では豫て管內市外電話の回線增設を計畫中だつたが平市實現も確定したので愈々近く工費七萬圓を以つて從來一回線だつた平―仙臺間、並に三回線の平―東京間を各一回線增設、その他管內各方面に亘つて增設されることになつた、右に依り各回線の輻輳は著しく緩和され從つて通話待ち時間も斷然短縮されるので平地方市外電話利用者の利便は一躍增設されるため期待されてゐる

---

常次郎、竪坑前伏見自動學校前森笠哲、古川好間礦業、安孫子虎雄、中好間東部猪狩朝重、小谷作廣加中村亊治、小谷作樋口根內孝正、以上十七名

# 優良納稅表彰

## 郡下一圓の優秀者

## 稅務振興協會推奬

石城稅務振興協會は明二十日午後一時から平署會議室で郡內協會員並に優良納稅組合及び組合長を表彰するが其氏名左の如くである

◇協會員

（泉村）收入役星野七郎、書記山本直次郎（渡邊）收入役橋本勳（植田）書記小宅廣喜知（勿來）同馬目武助（平町）同須藤鶴之助、同山野邊達卓（好間）收入役中村益平（澤渡三阪組合）書記阿部英雄（永戶箕輪組合）同草野淸省、（大浦）同磯井伊助（四倉）收入役遠藤安次郎、書記折內武技（大野）同馬上豊進）同關場和一（豊間）收入役菊地晴雄（高久）書記鈴木正一（飯野）同森山豊次（夏井）同久保木政直、書記箱崎彥治（小名濱）同坂本欽一郎（磐崎）同佐藤菊松（湯本）收入役鈴木信顯、書記內山吉五郎以上二十五名

◇納稅組合

（泉）驛前下坪、上組、八木屋上組、瀧尻第一、大劍第一同、第二（渡邊）豊野（錦）下町、南宿（勿來）白山、北町、同志、中町下町、小島、勿來（高久）丑年、淸水（入遠野）細畑前田、椎木（夏井）山崎第二、菅波第一、上大越、（湯本）第一（小名濱）下町明治組（磐崎）源內、大石小野田商業（大浦）長友、鹽木、中仁井田、東陽、（內郷）綴一七、瀧、代、小島

◇納稅組合長

（錦）下町小松佐武郎（勿來）出藏佐藤兵太郎、是那橫山太一、勿來兒玉富八、勿來第二國井亥之助田澤小野富次（小名濱）上組鈴木駒次郎、明治組野崎昇太郎（湯本）第一區鯨岡厚道（好間）三反田第二區青木信彥、內ノ彥金成

# 高商主催 體育大會

## 磐中猛練習

### 平商は出場しない

磐中の柔劍道及び庭球、籠球各部は來る二十三日福島高商主催の下に開催される關東北中等學校體育大會に出場する事になり目下必勝を期し猛練習を行つてゐるが平商は費用其他の關係から出場しない由

# 違反も前例通り

## 續出の食傷氣味

## 郡下町村議の選擧

### 騷がしくも賑々し

◎…今月から來月にかけて郡內町村の町村議選擧が順次行はれるのだから騷がしくもあり、賑しくもある

◎…選擧に違反がなく、きれい薩ぱりと行はれるものなら今日の樣に選擧を厭ふ譯はない筈だけれど、去年に續く今年の總選擧も、總選擧前に行はれつゝあつた町村議の選擧も、こと／＼く違反事件を出してゐる

◎…農繁期に入りつゝある昨年の選擧で、不心得者の絕へない現在では相變らず張られた網に引つかゝつてそちからもこちからも怪我人を出す事であらう、知りつゝ犯すのだから何うにも手のつけやうがない

◎…選擧は町村議の選擧から淨化されなければ駄目だ、然るに既に行はれた町村の選擧から隨分と違反が出てゐる、これから續々行はれ選擧にも同じやうに出て來ると、選擧にも食傷だが違反にも食傷となる、さてどんな成績を示すことやら

# 高久村議改選結果

十八日執行された高久村々議改選は投票數五百十一票、無效三二だつたが當選者左の如し

六五藁谷千雄　六一箱崎半右衛門　四一野木物治　四一小野勝義　四〇本間長之助　三九松本作治　三六箱崎勝高　三二矢吹與一　三二鈴木榮次郎　三二志賀國松　三一鈴木重太郎　二九鈴木廣松△次點二九鈴木勝一　田中市太郎

# 娼妓誘拐犯

## 平町に潜伏か

鹿兒島市鹽屋町六二米澤しほ方岡山縣都窪郡菅生村生れの娼妓幸子こと三宅佐乃惠（二三）は本月五日朝八時頃情夫の自稱大分縣別府市濱脇魚町一ノ二五西山藤吉（三五）と諜し合せて逃走行方を晦ましたが西山は有動次二又は宇土次一等の幾つもの名前を使ひ分けて惡事を働く婦女誘拐常習の香具師で昨年四月にも佐乃惠を連れださんとして失敗捕はれて鹿兒島檢事局で起訴猶豫になつた男でその後女から生活費を受けてブラ／＼遊び暮し金につまつて誘拐逃走したもので平方面に入り込んだ形跡ありと雇主から寫眞を添へて平署へ今十九日搜査方願ひ出た

# 平均四十名收容 九品寺の託兒所

## 設備等も充實して

## 愈來月十八日から

平町東部方面農家待望の九品寺農繁期託兒所は昨報の如く十八日午後から關係者が協議した結果愈々來月十八日より二十九日まで毎日午前七時から夕刻六時まで開設することに決定、所內に幼兒遊を喜ばす

ブランコ、スベリ臺、積木、岡舟、オルガン紙芝居、蓄音器、ラヂオ等々を設備するが今年は更に附近農家民衆の待望に答へて收容力を強化一日四十名平均を收容すべく保姆三名、おやつ係一名、臨時雇數名を雇つて活動することになつたので今十九日縣當局へ補助金交附方申請した

# 果樹類の作植は成育極めて順調

郡內に於ける今年の梨、柿等の果樹類の作柄は極めて順調な成育を見せ病害虫の發生もなく概して良好で收量が多い見込みの爲め値段は比較的落着くのではないかと神谷農試分場が發表した

# 結核豫防

## 平署が準備

結核豫防知識の普及を目指す結核豫防週間は來る二十七日から催される爲め平署は目下準備中

# 平商生兵營宿泊

## 今朝四年生が出發

既報平商四年生の兵營宿泊見學旅行は今十九日平驛午前八時二十分で中村配屬將校及び廠原教官引卒出發、午後十二時三十四分仙臺着後師團司令部青葉城跡等を見學、兵營の實生活に入つたが明二十日から三日間兵營內の設備及工兵器材を始め工兵作業場に於ける爆破教練、仙臺商工會議所及び物産陳列所を見學する他執銃各個教練、中隊教練基礎教育を受け二十二日午後六時二十二分で歸平する筈

# 農耕地の購買熱昂る

## 農村に好況來

### 賣買價格三割以上昂騰

#### 農銀の窓口に描出

主要農産物價高につれ近年にない農村景氣が示現されんとし農耕地賣買價格は昭和八年當時に比して三割以上の昂騰を見せ更に漸騰氣配をつゞけんとしてゐるが郡內自作農の農耕地買入れ熱は地價高騰と正比例して益々高まり行き、數年來の活潑な動を見せてゐる郡下農耕地を中心とする金融の中心をなす農銀平支店の窓口に描出される最近の事象はこの農耕地の動きを如實に反映し興味ある農村好況來の例證として注目されてゐる

# 淺野社長

## 磐炭を視察

磐城炭礦社長淺野總一郎氏は北海道からの歸途十九日朝平驛に下車磐城炭礦を視察した

## 平町人事

回出生

△古鍛冶町三一渡邊美登氏三女章さん

△月見町三三佐藤芳身氏長女榮子さん

## 平職業紹介所報

回求人之部

△採炭夫　尋卒程度　日給一圓
△雜夫臨時　日給八十
△出前持　尋卒　給步合
△農夫　五十才以下　日給五十錢
△女中　二十才前後　給五、六圓

回求職之部

△採炭夫　三十五才　高卒

# 祝宴の殺人

## 懲役十年求刑

### 判決は來る二十五日

既報祝宴の席上日本刀を振つて舅を突刺し即死せしめ其際仲裁人にまで斬付け瀕死の重傷を負せた勿來町大字酒井字堀ノ內四三荒川三郎（四二）に係る殺人及び同未遂事件の公判は昨十八日午後一時から平支部で中島裁判長係り田中、野木兩判事陪席石合檢事立會、安齋、山野邊、松野尾の各辯護士列席の下に開廷、被告は裁判の事實訊問に對し極力殺意のなかつた事を述べたが檢事から『醉餘とはいひ尊い人命を奪ひ然も被害者の遺族が今後どうなるかを考へる時被告は重罪に服する義務がある』と懲役十年を求刑後各辯護士の減刑論あつて三時過ぎ閉廷した、判決は來る二十五日午前九時

# 植田町區長

植田町の四區長並に區長代理者左の如く決定

△後田區長赤津又一、代理者櫛田悦喜△添野橋與治郎、代理者大平西松△石塚渡邊安藏、代理大竹政義△東田鈴木利男代理赤津千代松

# 平地方自動車網

## 千葉縣松戶から視察團

千葉縣松戶自動車協會支部役員十五名の一行は二十四日午後零時十五分平驛着で來平、平地方自動車交通運輸狀況を視察する

# 第一職員會

平第一校は今十九日午後二時半から職員會を開き來る二十七日の海軍記念日行事其他協議した

# 兵事々務

## 研究會幹事

### 明日平署に

平署管內兵事々務研究會幹事會は明二十日正午から同署會議室に開き更らに午後二時からは平、植田、四倉三署管內の聯合幹事會を開くと

# 馬が慘死

## 川部の火事

石城郡川部村字松の下農蛭田巳之藏方厩小屋から十七日朝七時半頃失火、小屋と馬一頭を燒いて鎭火した原因取灰の不始末

# 事業完成の 平町外二ヶ村 水害豫防組合

## 解散までの概要

### 三

今創立以來の歲入出總額を擧ぐれば左の如く各年度に於ける經費區分は別表に記載したる通り

| | |
|---|---|
| 歲入 | |
| 反別割 | 四一、七三七、五九〇 |
| 夫役割 | 三〇、〇八〇、一八〇 |
| 補助 | 八七、三六〇、四三〇 |
| 其ノ他 | 五五、七九三、三六〇 |

| | |
|---|---|
| 歲出 | |
| 管理費及會議費 | 三一、三〇一、三六〇 |
| 事業費 | 一八四、八〇〇、〇三〇 |
| 公債 | 一八、六五六、四五〇 |
| 其ノ他 | 三六、四七〇、三五〇 |

其の他管理維持にも亦多額を要するを以て昭和四年以來縣費支辨方屢々陳情を重ね昭和八年十一月十七日縣費支辨川に編入公示せられ地方關係者の大に喜とせし所なり、而して昭和十一年十二月十二日組合は目的たる新川古川の改修工事を完成し且民法上の義務を完了せるを以て組合廢止の件を議決し昭和十二年一月十一日縣の諮問あり同年二月一日答申、同年二月十日組合廢止を公示（二月二十二日縣告示第一一二號）せられ解散を見るに至れり。

組合費の賦課は水利組合法に依り左の割合を以て賦課し其の他必要に應じ夫役現品を組合員の全部又は一部に對し組合費を準率とし金額に算出して賦課したり、大正八年度に於ては組合費の十分の三を家屋割として賦課し金四七六、四七〇を徵收したるも大正九年度以降は之を徵收せず、內郷村の內大字綴、御厩、內町、高坂に限り他の町村（平町、飯野村、內郷村大字小島、御厩境）十分に對し八步の割合とす。

管理者は組合設立の際平町長に指定せられ爾來交迭三代に及ぶ其の他組合には大正六年來技術員を置き專ら事業の經營諸般の調査設計に當らしめ會計經理は平町收入役をして管掌せしめ一般事務は關係村及平町吏員に囑託して處理せしめたり。

以上の如く組合成立以來二十四年の久しき其の間數次の災害に遭遇し疲弊困憊其極に達し縣郡補助の申請、陳情に際しては縣會議員其の他有力者の援助に待つもの頗る多く一面亦組合員の協力一致堅忍持久を以て組合事業の達成に努めたる結果に外ならざるべし、組合事業に關與せられたるもの及議員の勞を多とし殊に物故せられたる議員其の他の諸氏に對し敬意を表せんとす。町村關係吏員左の如し

平町（町長）△伊坂員正伏見彥衛、靑沼鉾太郎（助役）△吉田三郎、佐藤要四郎、△遠藤長誠酒井寅之助（收入役）△植村恕忠、大河原金之助、西野源次郎（技師）神長倉春造（囑託）酒井寅之助、須藤鶴之助內郷村（村長）△菅波忠治、野木龜之助、沼田溜之助（助役）大越久治大平金彌、金澤爲喜、（收入役）根本金三郎、遠藤米吉、齋藤彌一飯野村（村長）和田龍太郎、△山崎吉平、伊藤淺之助（助役）北郷喜多治、渡邊博、箱崎才三郎（收入役）永山末藏、△山崎留吉、箱崎才三郎、江尻保雄、永山菊治

國旗と提灯

◎端午飾りのトップはフクダヤ

東京第一流の
五月人形

豊月特作
御座敷飾りセット
新型武者人形
甲冑飾セット
弊店特製の『鯉のぼり』ハ好評嘖々
『是非』一御一覽下さい。

フクダヤ祝品部
平二丁目

外科
內臟外科
X光線科
院長　安齋徹

新設
產婦人科
醫學士　黑澤廣

▽入院隨意△

平町田町
安齋醫院
電話四七五番

KHOJ

今晩の部

▼後六、〇〇　物語「桶狹間の今と昔」子供の劇場
▼後七、三〇　青年の夕　1講演「歐洲の近時を如何に見るや」林毅陸　2「創造性を涵養せよ」木村增太郎
▼後八、〇〇　吹奏樂　全關東吹奏樂聯盟
▼後八、二〇　天商ブラスバンド　名古屋吹奏樂團
▼後八、四〇　講談「伊賀の水月」神田山陽
▼後九、一〇　國民歌謠　武田明勁
▼後九、三〇　時報　ニュース　明日の話題　產業メモ

明日の部

▼前七、〇一　朝の修養「パスカルの思想と信仰」中山昌樹
▼前一〇、三〇　母の講座「兒童と住居」藤原九十郎
▼前一一、〇〇　小學生の時間　兒童劇「汽車の旅」東京市杉並第五校兒童
▼後〇、〇五　木曜コンサート　サクライロイス・オルケスタ、杉井幸一
▼後〇、三〇　國民歌謠　サンマルテ合唱團
▼後二、〇〇　小學生高等科の時間「和歌の話」土岐善麿
▼後二、三〇　婦人の時間「新綠の頃の歌」岡麓
▼後六、〇〇　ラヂオスケッチ「釣り」HKコドモ會
▼後六、二五　國史連續講演「頼朝の京都憧憬」龍肅
▼後七、三〇　講演「帝國燃料界の將來と朝鮮無煙炭の使命」福島英朔
▼後八、〇〇　放送文藝懸賞入選作發表（1）「國民歌謠四曲」關種子、內田榮一　2物語「疲れ切つた須美」堀越節子　3ミュージカルドラマ「故鄕の人々」友田恭助

# 白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗涯畫
（[illegible]上映原作）
布施長春
村瀨[illegible]映畫

―――一五四―――

## 友情に生きて（五）

『それは疾くに判つて居る筈ぢやが……松平左衛門をして使はうといふ伊豆の望みが判つたかといふのぢや』

『役人になりたい望みに違ひあるまい』

『違ふ。あの男を出世に使ふのぢや』

『何』

と、十郎左衛門はます／＼驚いてそんなことを云ふ源太の話について、すこしも油斷なく見守つた

『だがな。これは他の計略ぢやない。さすがに智慧者と云はれてゐるだけあつて、伊豆守殿は偉いところがある』

『ぢや。貴公は松平伊豆守殿から頼まれて[illegible]つたのか』

『つまり。伊豆守殿は俺を出世させるためにな。一應石ぢや。しかし、俺は今更一應石の職務と、はうとは思はん。いや昨日までは其の望みが胸いつぱいに滿々て居つた。けれどもな。目以前の友達共が……いや口にするのも何となく淋しく感じてならない。俺は其の位ひがいやうで堪らなくないといふことが判つた。出世などといふことは、人間の本當の道ではない。つまり出世を[illegible]つて提灯をしやうといふのだからな』

『それは若い目覺めぢやよ』

十郎左衛門は心地好さ相に笑いて、心のうちに此の男も[illegible]らしい血が身體に流れてゐると嬉しくさつたのであつた。

『しかし。水野氏。自分の出世といふことを一應として、お前が見込まれて頼まれたことだけは果せないと男の面目が立たんでなあ』

『だから、松平五左衛門を[illegible]までもつれて行くといふのか』

『俺の計略だけは伊豆守殿や貴公の伯父御へ見せてやらんと可かん』

『一平をどういふ風に使ふつもりぢや』

『源仙齋の首級を捕へる役さ』

『うむ』と、十郎左衛門は伊豆守らしい謀計だと思つた。しかし十郎自分も伯父から源仙齋の首級を捕へて白柄組の目を近てろと云はれてゐることを、ひ[illegible]して伊豆守の深計した苦肉の計略を遡[illegible]して從らうかとも考へて見たのであつた。

『入獄[illegible]』

『知つたら。一つ平氏をして貰はう。けれども決して松平氏は罪人にしない。それこそ[illegible]の[illegible]を[illegible]けても貿易などの仕事はさせない』

『他の[illegible]にも一平の身體が必要になつたのぢや』

『はゝあ。やつぱり源仙齋狩の時に[illegible]ふつもりか』

『何ともいへらん。貴公。水野との友誼を[illegible]へて見たら今夜俺にも云はずに此處へ歸つて見まいか』

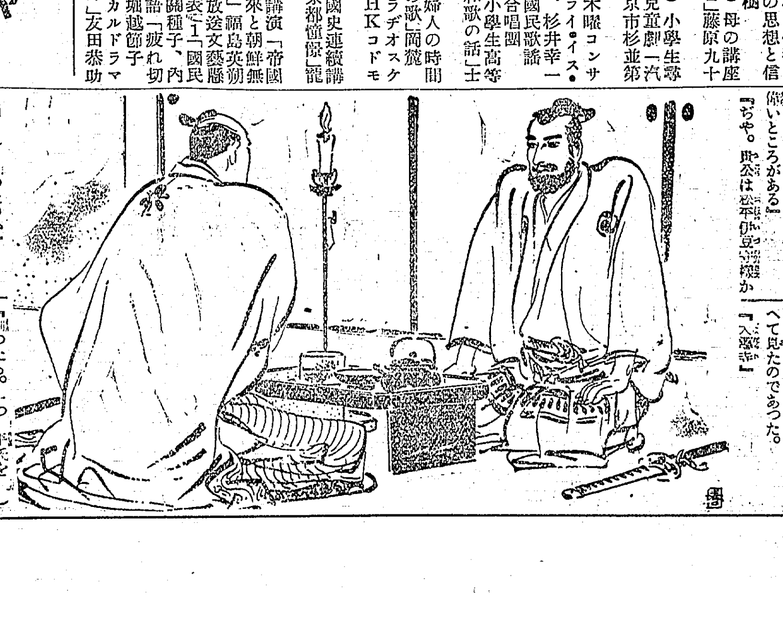
『友、と云つたな』

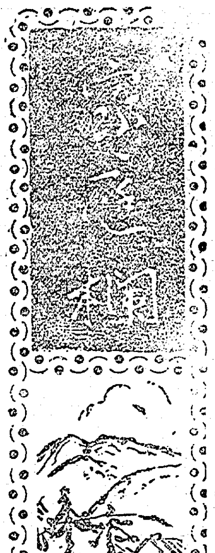
『さうぢや。貴公が承諾となつた[illegible]の面目を立てさせる[illegible]があつたらば……？』

『うむ』

と源太は短い言葉を吐いた。

どうせ一應石の位を捨るつもりであつたら自分の功名を水野に讓つて、いろ／＼と世話になつた恩返しをして見やうかとも[illegible]へて見たのであつた。





## モダンナゾ〳〵集

○巨砲一發とかけて
土瓶と解く
心はドヒンー

# 寢方によつて容貌が自然に變る

### お母さん方へ御注意

寢方によつて顏の形が變るなどゝ云ふと、そんな馬鹿げたことがあるものかと反問する方もありませうが、美容家が見ると、この人は普段どちら向に寢てゐるかと云ふことはその人の顏を一寸注意して見るとわかると云ふことです

寢方は普段の習慣によつて大抵きまつてゐるので、右向きによく寢たがるものです。それは

**心臟が左側** にあるので左向に寢ると心臟を壓迫するので自然右向に寢るわけですが、その人の習慣によつて、左向の人、右向の人、仰臥の人と變つてゐます。右向だけに寢る人の顏は、どうしても右半分の顏が充血して肥つてきて、眼が小さくなりますし、左向の習慣の人はそれと反對になり、始終仰向けに寢る人は顏がこけて細くなるのです。これはどうしても

**地球の重心** の關係からくるので、永い年月の間にだん〳〵顏貌をかへてゆくのですから注意しなければなりません。ではどんな寢方が理想的かと云ひますと、それは一定せずに始終寢方をかへて右向、左向、仰むけと順に寢て行くやうにすることです

殊に赤チャンのある母親はこの點にくれ〴〵も注意して下さい。御承知のやうに赤チャンは

**骨骼が弱く** もろいものですから、この原理が強く働きかけて來るのです

始終仰向けに寢かす習慣の赤チャンは頭が平たくなつて、頭の形を惡くすることを知らねばなりません。頭の形に影響すると云ふことはよく知つてゐても、顏の形にまで及ぶと云ふことは普通考へられてゐないやうです

ですから、赤チャンも矢張り時々顏をかへて寢かすことが、將來の容貌の上に大切なことだと思ひます

（醫學博士内田孝藏）

---

# 目を惹く品だけに値札がつけてない

「あれは幾ら位するものだらう」日本橋のしつ器專門店のウインドウにふと、氣を惹くものがあつた、行つてのぞいて見るとこれだけに不思議にプライスカードがつけてない、外のしつ工細工品には皆プライスカードがつけてあつたのである、もし値頃だつたら買はうと云ふ氣持があつたのだがわざわざ店内へはいつてねだんをきく氣もなくとほりすぎてしまつた、その品だけにプライスカードをつけなかつた理由は知らないがそのために客を一人逃してゐる

## 御存じ？ べつ甲の見分け方

電燈にすかして見ると

櫛でも、かんざしでもべつ甲製のもの、眞偽を見分るときは、まづ電燈ですかしてごらんなさい 眞物は小さな透明點がポツ〳〵と多數ありセルロイド製にはそれがありません、又馬の爪でつくつたものはほそい眞つすぐな線がたくさんありますから鑑別出來ます

---

# 花嫁講義錄

**婚禮**

まづ、吉事の場合、婚禮用語であり、用語として用ひられる言葉に「めでたく」といふのがあります、これを手紙に書く時には、人によると、「めでたく」は「目出度」に通じるといつて、據く向がありますから、この場合「芽出度」の當字を用ひます、どちらでもいゝやうなことながら社交上強ひて厭がる人の感情を害すにもおよびませんから注意した方がよろしい「相濟み」の語は「相變へ」を用ひ後妻をむかへた人に對しては「首尾よく」の語を忌むとされてゐます、これは先もよし今もよし二道かけてゐるといふので嫌はれます

**出産**

子供が生れた時の喜びの手紙、また、名前がつかない時ならば、御若子と記すのが一[illegible]禮です、一般世間の用語としては子供が生れたことを書く場合は「出世」「出産」の語が普通であり「誕生」の語は遠慮すべきものとしてあります。母と赤ン坊、この二人一緒に述べる言葉としては「御二方」の語が用ひられます

**凶事**

「悔み」は「悼み」と書くのが正しいとされてゐます、悼みの手紙に、時候の挨拶から書き出してわらはれたといふ、これこそ笑へない實話があるくらゐで、うつかりは出來ません、承はりますれば……といきなり本文に入るべきものです

◇死亡通知の印刷手紙や、新聞廣告などに「此段辱知諸氏に……云々と記したのがありますが、辱知は生前知を辱くしてゐると云ふ意味で、目上に對して用ひられない言葉である事を記憶しておく必要があります死亡通知に「永々病氣のところ藥石效なく……」と記したのがありますが、永々病氣と云ふからには、藥石效のないのは明らかな話で、から云ふのは蛇足甚だしいもの、それよりも、どこで、どんな樣子で逝くなつたと云ふ事が書いてある方が效能がふかいものです、尚「逝去」の文字は從三位以上の人でなければもちひられませんからあはせて知つておく必要があります

**贈答**

贈答品については、一般には「進上」「拜呈」の語が用ひられますが、身分の高い人に對しては、獻上の語が用ひられます、なほ[illegible]に任せ」の句は、よほどよく知つてゐる間柄でなければ用ひられません、うちとけた仲間同志で「差上げ」の語を用ひることもありますが「差し出し」の語は目下に對して用ひるべきもので、同輩以上は使ふと失禮にあたります

---

# 舌で判る病氣の診斷

### 舌苔は内臓の故障

○…舌の變化の病氣を診斷する上に重要な價値のあることは一般醫師の診察を受けた方は誰でも御存じのわけです

**健康** な舌は、紅色にすこし白色を帶び表面は薄い灰色で所謂はなるほど紅色を增し常に濕潤しております。また運動が自由で舌を外へ[illegible]ふるへるやうなことはありません、それらの狀態に變化があれば異狀があるのです

**舌の** 運動が不自由で、言語が不明瞭となり又震動するやうな事があれば腦病[illegible]ねばなりません。又[illegible]淡灰色の厚い舌ごけがあらはれた時は内臓に何か故障の起つた證據です。殊にその舌ごけが灰白色で舌全體を覆ひ舌の奥に行くほど厚くなつてゐる時は急性胃カタルか小腸カタルである場合が多く、胃酸過多、胃潰瘍、大腸カタル等では

**舌苔** のない場合が多いのでその判別が出來ます

○…胃癌や肝臟癌では舌苔は餘りあつく覆ひませんが、表面が赤く乾燥して來ます、チブス等の急性熱病では最初灰白色或は褐色の乾燥した舌苔におほはれ、次で舌の尖端部と周圍の苔が剝離して紅色部が現れて來ます。又

**梅毒** の二期などでは舌に白斑が出來て多少かたくなつてくることがあります

○…兎に角舌に斯うした異狀のあつた場合は、すみやかに醫師の診斷を請ふ事が必要です

---

# みかんの皮 すてずに利用しませう

□…刻んでゆで一夜水につけて置き、翌日しぼり上げて醬油と砂糖で煮てたべれば、[illegible]佃煮もあり風味もよいものです。

□…ミカン一個の皮に水一合位いれ、土びんで煮て砂糖をすこしいれると、香りのよい飲物になり、特に胸のやける時によいとされてゐます

□…又、刻んだ皮を大豆と一緒に煮て味をつけますと、ミカンの皮はとろと形がないやうになり、味のよい煮豆が出來ます

□…よく干した皮を焦さぬやうにいつて、それをすりつぶして粉末につくり、大匙一パイに砂糖を中匙一パイの割に加へて適宜に薄めて飲めば、非常に香味のよい飲物となり、咳をしづめ痰を切り、風邪の藥効ともなります

□…手のあれた時や、ひゞにはミカンの皮の汁をぬると効があるといひます

□…クタ〳〵に煮て盃一パイほど飲むと、魚介の中毒を消す効があります

□…干した皮を水につけてやわらげ、みぢんに刻んで各種の料理やなめ味噌などにあしらふと、香味を増し消化を助け、食慾もすゝみます

□…皮をそのまゝ布袋にいれて風呂にいれるか、糸を通して風呂にいれると、香もよく身體もあたゝまつて大變結構です

□…押いれや臺所などの濕氣を止めるところに、時をりミカンの皮のほしたのをいぶすと、濕氣を止めることが出來ます

□…皮をよく乾燥さしてたくはへて置き、夏火にくべていぶすと蚊遣の代用になります

---

# 何でも東京

## 待合は全國の七割 交通事故四割五分

東京はあらゆる點で日本の中樞だ、文化も政治も、映畫も流行も全國各地にスピーディーにながれて行く、この「東京」は全國の何の位の割合を占めてゐるか？最近出來上つた警視廳の統計によると、まづ人口は全國（内地）の約七千萬人に對して

**東**

京が六百萬人強で約九分だが、この九分をしめる人口から生ずる他の關係では成程さすが「東京」と思はせるものが數ある、まづ娛樂方面からみると、カフエーやバーでは銀座邊に匹敵する一流どころから場末のインチキものまで入れて約一萬軒で全國總數の二割八分、待合に至つては正に驚くなかれ全國の約七割をしめてゐる 藝妓は一割四分、娼妓は一割六分で、これらの藝、娼妓を相手に遊ぶ客の數は、一ケ年間（昭和十一年）の人數が三百七十五萬人で全國の二割一分といふ勘定になつてゐる、これで見ると東京には遊樂者が多いことになるわけだ 興行場を見ると活動寫眞館は一割六分である 劇場はぐんと減つてたつた二分、テンポのはやい映畫の方が江戸ッ子にピンと來るものと見える、次に自動車の數を見ると、これはさすがに帝都だけあつて普通乘用車が一萬七千六百臺で全國の約二割四分、この運轉手が五萬七千人で二割八分といふ物すごさ、これに反して人力車は殆ど地方の專有物で東京は八分で僅に昔日の名殘を留めてゐる程度にすぎない 自動車が多いだけあつて交通事故はまた非常に多く、事故件數は全國の四割五分をしめ、これによつて生ずる負傷者は三割八分で交通の繁激さを物語つてゐる、さらに犯罪の發生數は約一割一分であるが

**檢**

擧數は八分五厘で、この數字からは犯罪都市「東京」の姿が浮かび上つて來る、これ等を取締る警察官は二割一分で、これまた全國に比較すると非常に多く警察官は二割六分で他府縣の警察官より待遇にいゝ事になつてゐる

---

# 護れ太平洋の波

寺島柾史（作）　村岡春眠（畫）

――No一三四……

## 國か國か（三）

栗飯原は、さういふ文學上のことには興味がなかつた。併し、老人は其の反對に、人生は詩以外の何物でもないといつた風な顏付きで、

「わしが詩人として活躍した時代は與謝野鐵幹等の新詩運動時代さ河井醉茗だとか、蒲原有明などはみんな、わしの仲間だつたのさ」

「あんたは、兒玉花外さんと御存いませんか」

栗飯原は、老詩人で、酒のために生涯を失つたやうにさへいはれてゐる兒玉花外の名だけは知つてゐた。

「花外か、あいつも、われ〳〵といつしよに詩をやつたのだ、花外は、まだ生きて居る筈だよ、いやあの男だけだ、老人になつても詩を愛し、詩以外には一指も觸れぬ[illegible]な男だ、そのために老て益々不遇と云ふわけだ、相變らず酒に溺れて詩を口ずさんでゐるだらう」

「貴郎も、其の花外と同じやうな境遇ぢやないのですか」

「そうだよ・あの男と同じやうに不遇さ、だが、花外には一人娘があるが、他家へ去つて彼の老後をみては呉れぬが、わしの一人息子は、はる〳〵北海道から、わしの酒代を月々送つて呉れるでのう、ハヽヽヽ」

「貴郎の息子さんは、親孝行ですな」

「わしの自慢の一人息子ぢや」

「北海道の、どの邊に住んでゐられますか」

「それがさ、どの邊といつて一定の居處がないのさ、函館に假の住居を置いて、千島で荒稼ぎをやつてゐる」

「荒稼ぎ？」

「そうだよ、ラッコ船に乘つて、[illegible]で密獵をやつてゐるのさ」

「なるほど……」

と、いつたが、栗飯原も、ボルメン等と共に北洋で密獵をやつたことがあるので、妙な因緣のやうな氣がした。

「僕も北海で働いたことがありますよ」

「お前さんが……矢張り、ラッコ獵かね」

老人は、しよぼ〳〵眼で栗飯原を見た。

「冷凍船に乘つて、ラッコやオットセイの密獵をやりましたよ」

「ほう……わしも一度は行つてみたいとおもつてゐるが、何しろ此の年ぢやその望みもかなはぬでなア」

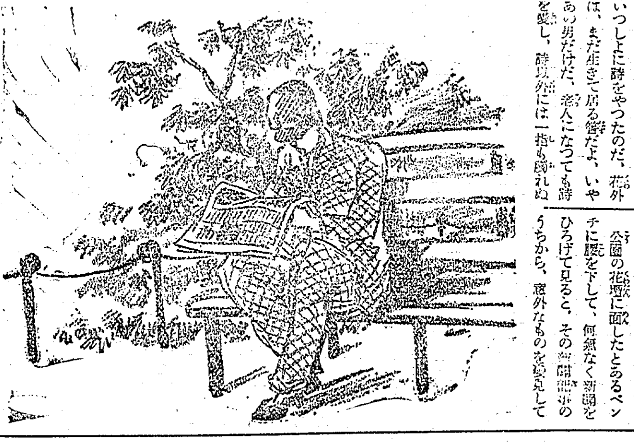
こんな話をし合つたのち、栗飯原は、街の老人詩人と別れた。別れしなに、老人から、例の一葉の根室新報を貰つた。それを、ポケットに押込んで、ぶらりと日比谷公園の方へ足を選んだ。

公園の花壇に面したとあるベンチに腰を下して、何氣なく新聞をひろげて見ると、その新聞記事のうちから、意外なものを發見して思はず、

「おう！」

と、けだものゝやうに唸つた。

「おう、これは、意外な新聞記事だ」



さう呟いて、改めて、新聞の記事に讀みふけつた。

栗飯原の驚いた新聞記事といふのは、それは根室港の郊外にある[illegible]無線電信局と[illegible]飛行場の附近を、數日來外國人が徘徊してゐるので、同地駐在の巡査の一人が取調べてみると、外國人は附近の實狀を調査し、且つ各所の撮影をなしてゐることが判つた。

外國人は、ジャパン・トピック紙記者ウイルスンと、自から名乘つてゐる。

それから二晝夜の後、栗飯原は北海道の東北端――霧の港町根室の、高臺にある寂れたステーションで汽車を捨てゝ石ころだらけの道を歩いてゐた。

早速、警察分隊をたづねて、分隊長に會見を求め、例の新聞記事を示して、

「この外國人に面會がいたしたいのですが」

と、申込んだ。

---

産科
婦人科
專門
（手術室完備）
（入院隨時）
平町南町五二
根本醫院
根本莊次郎
根本貞雄
電話三十四番

耳鼻
咽喉
科專門
大和田醫院
平町南町一六（電話一七〇番）

セメントは常陸
御用は！
大谷建材店
平紺屋町（電三六六番）

御贈答に……
鰹節
美味
鰹鹽から
干やなぎ
魚問屋
志賀盛榮商店
（平町四丁目　電話二一三番）

吸入用酸素 純度99%
モノサシ　マス　ハカリ
度量衡
計量器
體温計　寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番
寫眞材料一式販賣致シマス

旅舘
大平舘
私は平町出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人　比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

花柳病科　外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際　電話三〇九

科外生徒募集
邦文タイプライター科　時代の尖端を行く現代婦人の職業
入學は毎月―隨時　卒業期間―五ケ月
器械使用材料費―月金參圓五十錢
☒卒業者の就職照會は各方面と連絡を有し斡旋致します
洋裁科　躍進日本婦人の家庭職業
入學は毎月―隨時　卒業期間―本科一ケ年、速成科―六ケ月　月謝（ミシン使用料共）金參圓五十錢　外に裁斷科三ケ月卒業の設あり
―細目表―部分拔萃―基礎縫、制服着、寸法取り方原型製出、ブルマー、スリップ、エプロン、コンビネーション、ロンパース、簡單服、セーラー、シュミーズ
入學の資格（兩科共）高等女學校、實科高等女學校を卒業したるもの、本校本科を卒業したるもの、其他本校に於て相當と認めたるもの
文部大臣認可
平陽女學校
平町　電話四四五番

保健サルマタ
新案特許第一二三三一五五號
運動に!!! 活動に!!! 最も輕快!!!
七大特長
一、胃腸健康增進効果
一、保健腹帶兼用
一、体裁ノ最優美
一、穿心地ノ輕快
一、耐久力ノ豐富
一、洗濯簡單
一、價格ノ至廉
―定價―
特大　大　0.30
中小　0.28
◎當地有名洋品店に有

專門
花柳病科
婦人科
産科
▼入院隨意
井坂醫院
平町田町
電話五五九番

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奬め致します
入會隨時
喜多流謠曲仕舞
白土會
平町田町六九
電話一二七番

レストラン
サロン
食事
喫茶
酒場を
兼ねた
平町田町
電三五二